

GNetBak Replicator(v4.2.2)設定マニュアル

本取扱説明書には、GNetBak Replicator (以下、本ソフトと称します) のご利用に関する説明が記載されています。
本取扱説明書をよくお読みになり、本ソフトをご活用ください。

■ご注意

- (1)本書及び本ソフトの内容の一部または全部を無断で複製、複製することを禁じます。
- (2)本書及び本ソフトの内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書及び本ソフトの内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れ等お気づきのことがございましたら、ご連絡ください。
- (4)本ソフト(本ソフトを利用するパソコン、ネットワーク環境等を含む)の故障、誤動作、不具合あるいは停電時等の外部要因によって異常な動作が発生した場合や、その異常動作の発生により生じた損害等の純正経済損失につきましては、(3)項に関わらず一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- (5)お客様のデータの損失を避けるために、システム及びデータのバックアップを定期的にとってください。
本ソフト(本ソフトを利用するパソコン、ネットワーク環境等を含む)の運用における異常動作(4項に関連)により、いかなる種類のデータ損失または回復に関して一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- (6)本ソフトの設定値を保存中に停電が発生した場合等、設定データが異常になることがあります。
その場合、再度設定をやり直してください。
- (7)『Windows® XP/Vista/7/8』は 米国Microsoft Corporationの商品名称または登録商標です。
また、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- (8)本ソフトは日本国内仕様の製品です。日本国外での使用は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。



ご利用のパソコンのOSによっては、画面表記が異なったりセキュリティに関する警告が出るなど、本書内と異なる場合があります。また、本ソフトをご利用頂くパソコンにインストールされているセキュリティソフト等のパソコンの状態により、本ソフトが正常に動作しない場合があります。なお、全てのパソコンでの動作は保障いたしかねます。予めご了承ください。

■サポート・お問い合わせ

本ソフトに関するサポート(ご利用前～設定におけるお問い合わせ/設定及び運用時におけるお問い合わせ等)は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

⇒お問い合わせ先

アレクソン サポートセンター : 072-780-1101

・受付時間: 月曜～金曜 9:20～12:00 13:00～17:00

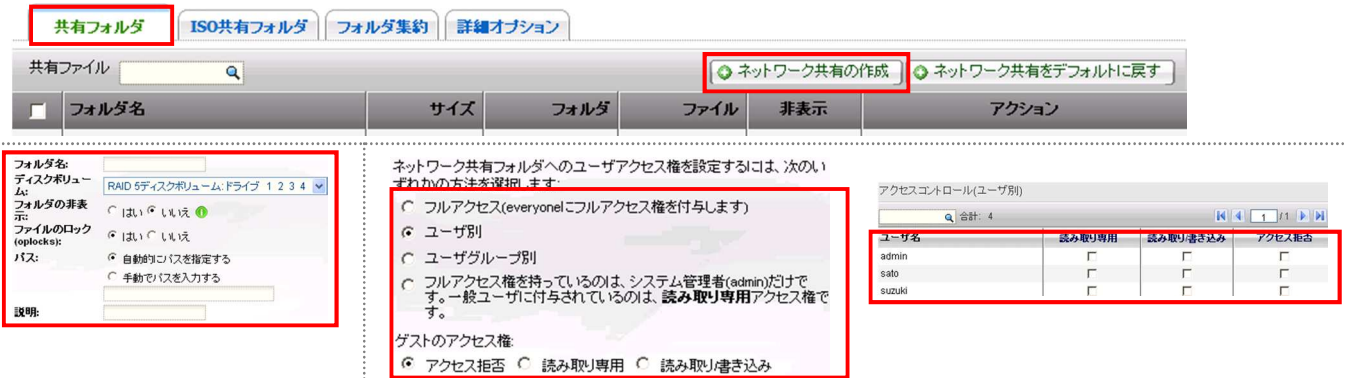
※祝祭日、年末年始、弊社休業日を除く

1. セットアップ

1-1 クラウドシェルター側の設定 (バックアップ用フォルダの作成)

- ①本ソフトを使う前に、クラウドシェルターの管理画面にログインしてください。
- ②メニュー>>アクセス権管理>>共有フォルダにて、バックアップ用の共有フォルダを作成してください。
- ③共有フォルダが誰でもアクセスできるのか、特定アカウントまたは管理者がアクセスできるのか設定してください。

・ホーム⇒アクセス権管理⇒共有フォルダの共有フォルダタブで『ネットワーク共有の作成』⇒ウィザードで『次へ』⇒『フォルダ名』及び必要事項を設定し『次へ』⇒フォルダへの『ユーザアクセス権・ゲストのアクセス権』を設定し『次へ』⇒アクセス権にて『ユーザ別』を選択した場合はユーザ毎にアクセス権を設定し『次へ』⇒『ユーザグループ別』を選択した場合はユーザグループ毎にアクセス権を設定し『次へ』⇒設定内容を確認し『次へ』⇒完了画面にて『完了』



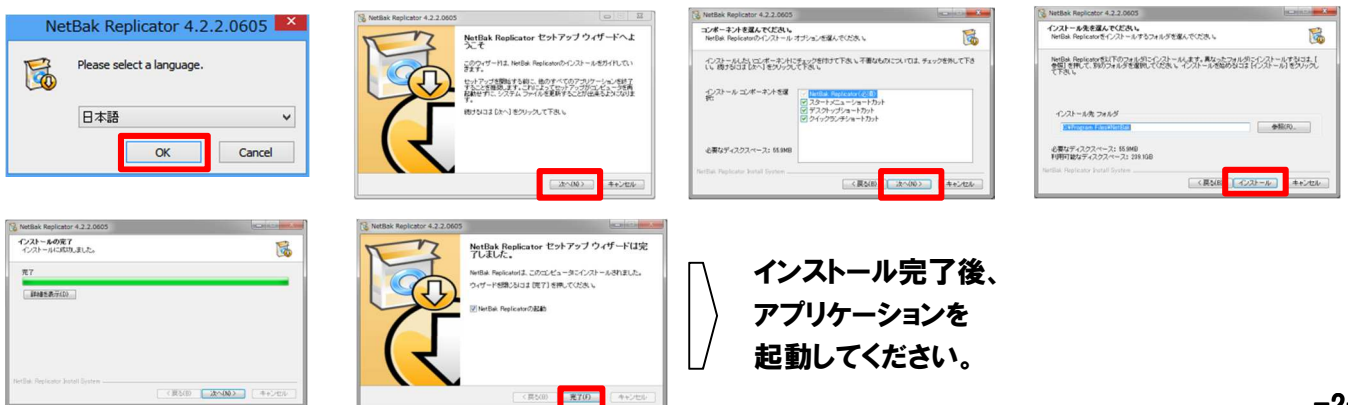
クラウドシェルターの設定は、クラウドシェルターの取扱説明書をご確認ください。

1-2 インストール

- ①クラウドシェルターシリーズに同梱されているCD-ROMより、『G_Netbak_Replicator_Setup(v4.2.2)』をインストールするパソコン(例えばデスクトップ)へコピーしてください。(※お使いのPCのOSによっては.exeと表示されます)
- ②『G_Netbak_Replicator_Setup(v4.2.2)』のアイコンをダブルクリックしてください。
※Windows8の場合、以下のセキュリティの警告が表示される場合があります。『詳細情報』⇒『実行』をクリックしてください。
ユーザーアカウント制御のウィンドウにて、『はい』をクリックしてください。



- ③言語選択ウィンドウにて、日本語であることを確認し『OK』をクリックしてインストーラーを起動してください。
画面の指示に従い、本ソフトをインストールしてください。



インストール完了後、アプリケーションを起動してください。

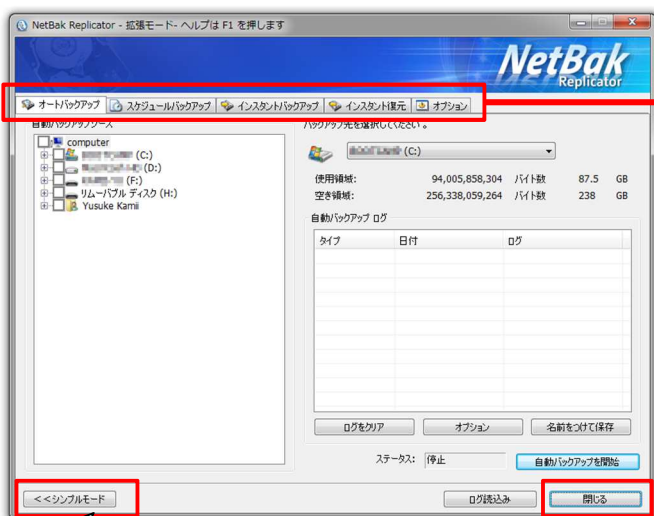
1-3 画面の説明

本画面はシンプルモードの画面です。

シンプルモードでは、即時バックアップ(インスタントバックアップ)、即時復元(インスタント復元)を利用できます。オート(自動)バックアップ及びスケジュールバックアップ等のご利用は、拡張モードを選択してください。



アイコン	機能の説明	
	インスタントバックアップ	指定場所にすぐにデータをバックアップします。
	インスタント復元	指定場所にすぐにデータを復元(リストア)します。
	拡張モード	自動バックアップ、スケジュールバックアップ等を行う拡張モードへ移動します。
	オプション	フィルタ設定等を行う拡張モードのオプション画面へ移動します。



メニュー	機能の説明
オートバックアップ	指定場所に自動的にデータをバックアップします。
スケジュールバックアップ	設定されたスケジュールに基づきバックアップします。
インスタントバックアップ	指定場所にすぐにデータをバックアップします。
インスタント復元	指定場所にすぐにデータを復元します。
オプション	フィルターの設定等を行います。

シンプルモードへ戻ります。

本画面を閉じます。

2.バックアップ

2-1 今すぐバックアップする(インスタントバックアップ)

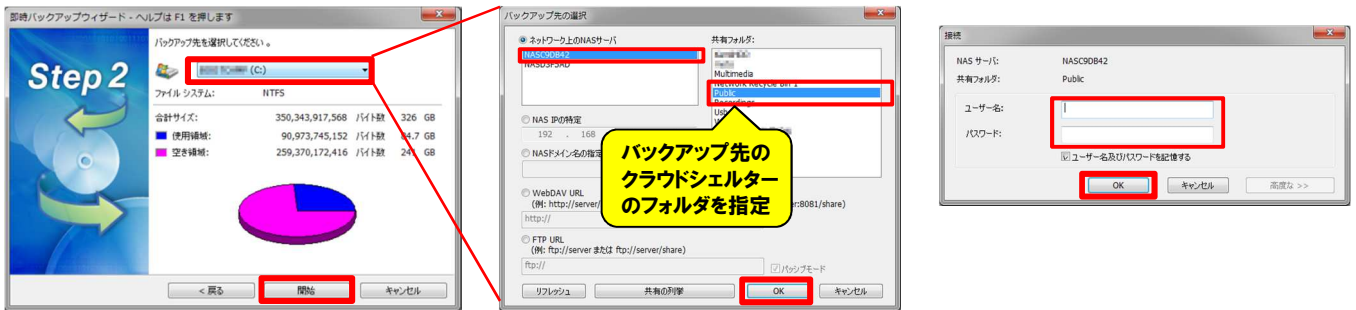
今すぐバックアップを実施する場合、以下の手順にてバックアップを実施してください。

- ①『インスタントバックアップ』をクリックしてください。
- ②Step1にて、バックアップするフォルダまたはファイルを選択(チェック)し、『次へ』をクリックしてください。

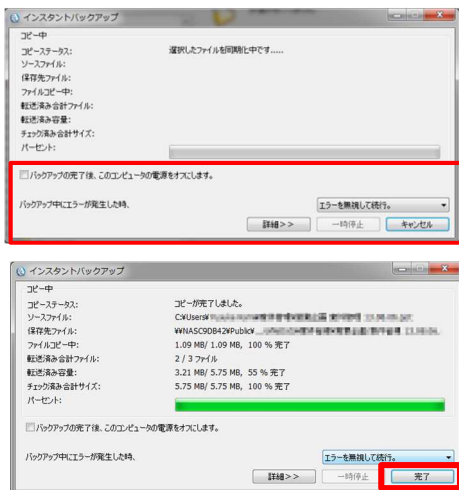


⚠ バックアップ対象はフォルダ/ファイルのみとし、Cドライブ丸ごとはバックアップしないでください。Cドライブ丸ごとバックアップは、バックアップに時間を要し、WINDOWSのシステムやプログラムも対象になるため、PCの挙動が極端に遅くなる場合があります。

- ③Step2のバックアップ先の選択にて、『<ネットワークの場所>』を選択してください。
- ④バックアップ先の選択にて、バックアップ先のクラウドシェルターのフォルダを指定し、『OK』をクリックしてください。
※クラウドシェルターへログインする『ユーザ名』『パスワード』を入力し、『OK』をクリックしてください。
- ⑤Step2にてバックアップ先を確認し、『開始』をクリックしてください。(※最後に指定したフォルダが表示されます)



- ⑥バックアップが完了したら、『完了』をクリックしてください。



ボタン/項目	機能の説明
バックアップの終了後、このコンピュータの電源をオフにします。	このオプションを選択すると、バックアップ完了後、コンピュータが自動的にオフになります。
バックアップ中にエラーが発生した時	バックアップ中にエラーが発生した場合、以下の機能を選択できます。 ・警告ダイアログの表示 ・エラーを無視して続ける ・処理を停止する
詳細	バックアップ情報を表示します。ログの上にマウスをのせると、詳細が表示されます。
一時停止	バックアップ処理を一時停止します。
キャンセル	バックアップ処理を終了します。

2-2 自動的にバックアップする

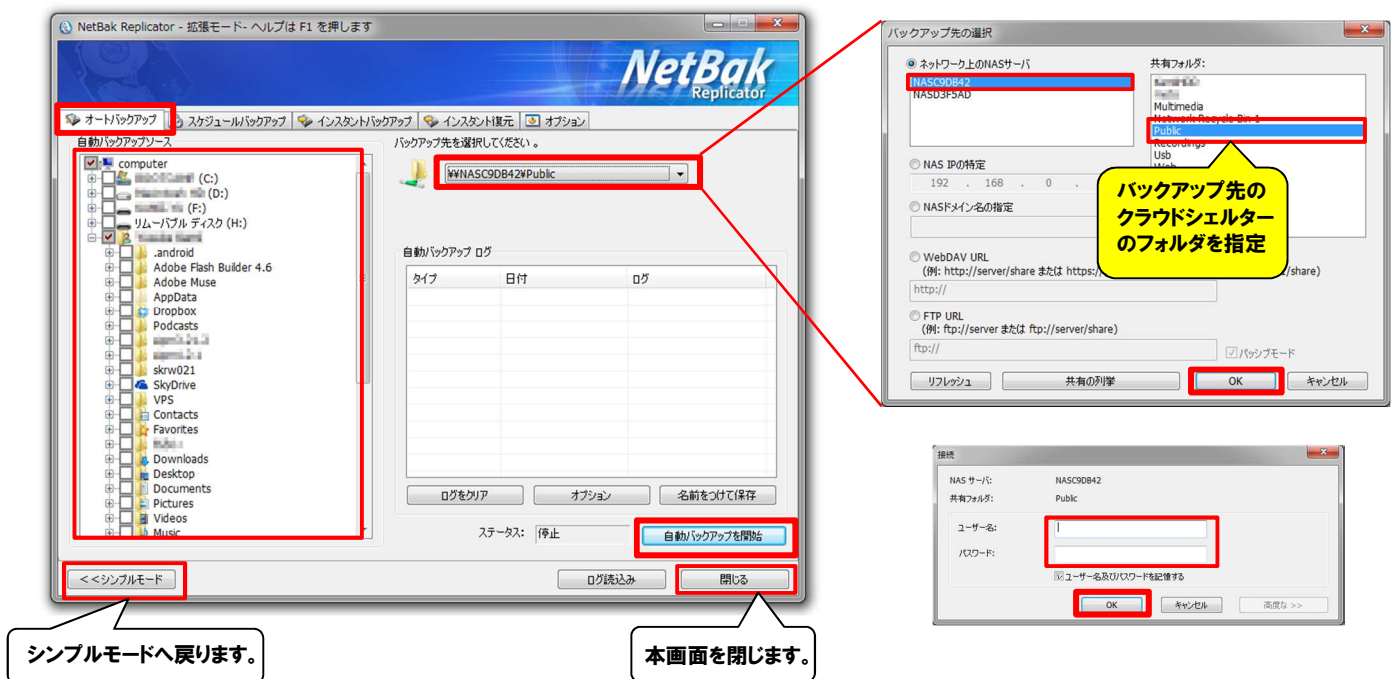
特定のファイルやフォルダの変更時(追加/修正等)に自動的にバックアップさせる場合、以下の手順で設定してください。

- ① シンプルモードのメニュー画面にて、『**拡張モード**』をクリックしてください。
- ② 拡張モードにて、『**オートバックアップ**』を選択してください。
- ③ 自動バックアップを行うフォルダ/ファイルを選択(チェック)してください。
- ④ バックアップ先のクラウドシেলターのフォルダを設定し、『**自動バックアップ開始**』をクリックしてください。

※クラウドシেলターへログインする『**ユーザ名**』・『**パスワード**』を入力し、『**OK**』をクリックしてください。

※自動バックアップ開始した際、ファイルを以前バックアップしていない場合は、バックアップが自動的にはじまります。

- ⑤ 自動バックアップを無効にする場合、『**停止**』をクリックしてください。



項目	機能の説明
自動バックアップソース	自動バックアップするフォルダまたはファイルを選択します。
バックアップ先を選択してください。	データをバックアップするクラウドシেলターのフォルダを指定します。
自動バックアップを開始	自動バックアップを実行します。以前にバックアップしていないファイルは、自動的にバックアップが開始されます。
停止	自動バックアップを無効にします。
ログをクリア	ログを消去します。
オプション	ログの種別を変更します。
名前をつけて保存	バックアップ情報を保存します。
ログ読み込み	以前保存した情報を表示します。

2-3 スケジュールでバックアップする

特定のファイルやフォルダを決められたスケジュールにてバックアップさせる場合、以下の手順で設定してください。

- ① シンプルモードのメニュー画面にて、『拡張モード』をクリックしてください。
- ② 拡張モードにて、『スケジュールバックアップ』を選択してください。
- ③ スケジュールバックアップを行うフォルダ/ファイルを選択(チェック)してください。
- ④ バックアップ先のクラウドシেলターのフォルダを設定してください。
※クラウドシエルターへログインする『ユーザ名』・『パスワード』を入力し、『OK』をクリックしてください。
- ⑤ スケジュールバックアップを行う日時及びバックアップ周期(回数)を指定し、『スケジュール開始』をクリックしてください。
- ⑥ スケジュールバックアップを無効にする場合、『停止』をクリックしてください。

シンプルモードへ戻ります。

本画面を閉じます。

項目	機能の説明
スケジュールバックアップソース	スケジュールバックアップするファイルおよびフォルダを選択します。
バックアップ先を選択してください。	データをバックアップする、クラウドシエルターのフォルダを選択します。
スタート	バックアップスケジュールの開始日と時間を指定します。
回数設定	バックアップスケジュールを指定します。『選択された日に繰り返す』のオプションが無効になっている場合、バックアップスケジュールは一度だけ実行されます。
スケジュール開始	バックアップスケジュールを選択し、スケジュールバックアップを有効にします。バックアップスケジュールを停止するには、停止をクリックします。
バックアップスケジュール	バックアップスケジュールがこのリストに表示されます。バックアップスケジュールは最大 16 個作成できます。
追加	リストにスケジュールバックアップジョブを追加します。
削除	スケジュールバックアップジョブをリストから削除します。
保存	スケジュールジョブを変更して保存します。
ログ	バックアップログを表示します。

3. 復元(リストア)

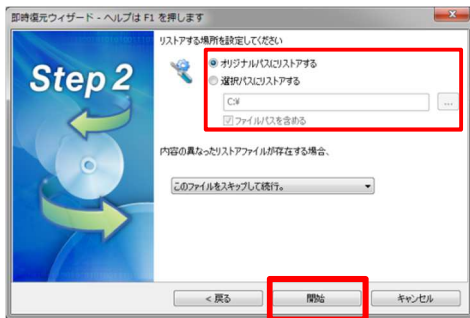
3-1 シンプルモードから復元 (リストア) する

シンプルモードにてバックアップデータをパソコンへ復元(リストア)する場合、以下の手順にて実施してください。

- ①シンプルモードにて、『**インスタント復元**』をクリックしてください。
- ②Step1にて、パソコンへリストアしたいフォルダ及びファイルを選択し、『**次へ**』をクリックしてください。



- ③Step2にて、リストアする場所を選択してください。
既存の場所以外にリストア先を指定する場合、『**選択パスにリストアする**』をチェックしリストア先を指定してください。
- ④リストア先を確認し、『**開始**』をクリックしてください。



項目	機能の説明
ソースを選択してください。	リストア対象のフォルダ及びファイルを保存したフォルダを選択します。
ユーザとコンピューターを選択してください。	リストア対象のフォルダ及びファイルを選択します。
オリジナルパスにリストアする	既存のバックアップ元へリストアします。
選択パスに復元する。	既存の場所以外にリストア先を指定する場合、リストア先を指定します。
内容の異なったリストアファイルが存在する場合	リストア中に内容の異なったリストアファイルが存在する場合、以下の機能を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・このファイルをスキップして続行。 ・全てのファイルをリストアする。 ・警告ダイアログを表示
開始	リストアを開始します。
リフレッシュ	最新の状態を表示します。

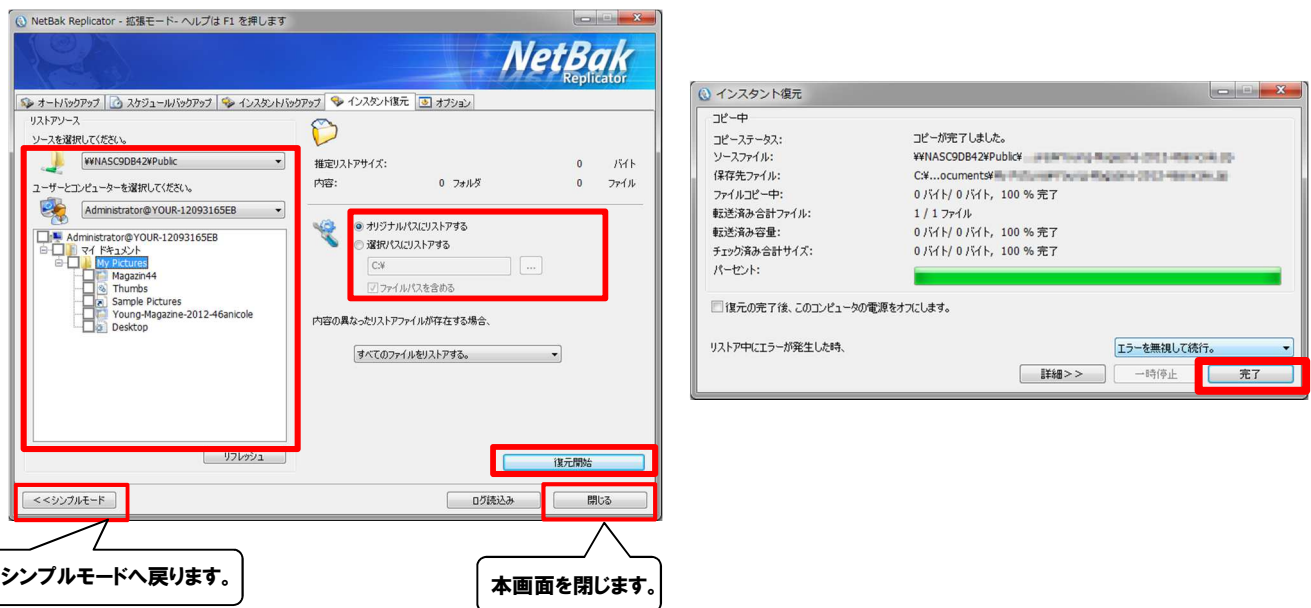
3-2 拡張モードにてリストアする

拡張モードにてバックアップデータをパソコンへリストアする場合、以下の手順にて実施してください。

- ① 拡張モードにて、『**インスタント復元**』をクリックしてください。
- ② パソコンへリストアしたいフォルダ及びファイルを選択してください。
- ③ リストアする場所を選択してください。

既存の場所以外にリストア先を指定する場合、『**選択パスにリストアする**』をチェックしリストア先を指定してください。

- ④ リストア先を確認し、『**復元開始**』をクリックしてください。
- ⑤ リストアが完了したら、『**完了**』をクリックしてください。



項目	機能の説明
ソースを選択してください。	リストア対象のフォルダ及びファイルを保存したフォルダを選択します。
ユーザとコンピューターを選択してください。	リストア対象のフォルダ及びファイルを選択します。
オリジナルパスにリストアする	既存のバックアップ元へリストアします。
選択パスに復元する。	既存の場所以外にリストア先を指定する場合、リストア先を指定します。
内容の異なったリストアファイルが存在する場合	リストア中に内容の異なったリストアファイルが存在する場合、以下の機能を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・このファイルをスキップして続行。 ・すべてのファイルをリストアする。 ・警告ダイアログを表示
復元開始	リストアを開始します。
リフレッシュ	最新の状態を表示します。
リストア中にエラーが発生した時	リストア中にエラーが発生した場合、以下の機能を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・警告ダイアログの表示 ・エラーを無視して続ける ・処理を停止する
一時停止	リストア処理を一時停止します。
キャンセル	リストア処理を終了します。

4. オプション

4-1 フィルターの設定

バックアップおよびリストア動作から除外するファイルタイプを指定する場合、以下の手順で設定してください。

① シンプルモードのメニュー画面にて、『**オプション**』をクリックしてください。

※ 拡張モードにて『**オプション**』を選択しても同じです。

② バックアップおよびリストア動作から除外するファイルタイプを指定する場合、『**フィルター設定**』をクリックしてください。

特定タイプのファイルをフィルタリングするには、ファイルタイプを入力して、をクリックします。

例えば、ファイル名に関係なく、すべてのテキストファイルをフィルタリングするには、*.txtを入力します。

すべての種類の一時ファイルをフィルタリングするには、~*.tmpを入力してください。

③ フィルターを設定後、『**OK**』をクリックしてください。

